



第11回「ふるさと名取の歴史展」

- 目で見える名取の歴史 - (古墳時代2・古代)

熊野堂横穴墓群



入口付近の様子



遺体を納める部屋の中



石室の中で土器が出土した様子



まがたま
勾玉



すずくしる
鈴釧



きんかん
金環

野田山遺跡



見つかった竪穴住居跡



近畿地方との交流を
裏付ける土器

十三塚遺跡



姿をあらわした当時のムラ



東北地方で初めて出土した
石製の腕輪

下増田飯塚古墳群



塚根塚古墳の近く
で発見された竪穴住居



残されていた
多くの土器

前野田東遺跡



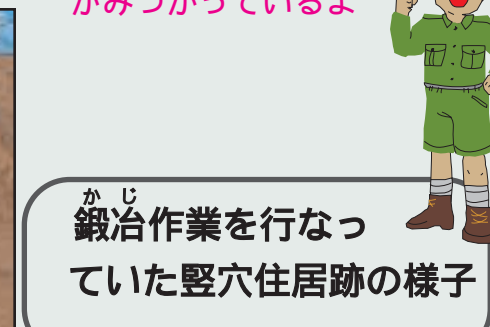
火災で焼けた
竪穴住居跡の様子



底に穴のある土器が
出土した様子



作業場の様子



送風に使われたフイゴ
の羽口が出土した様子

遺跡からはいろいろな物
がみついているよ



かじ
鍛冶作業を行なっ
ていた竪穴住居跡の様子

古墳時代前後の年表

古墳時代のあゆみ

弥生時代	前期 4世紀 (301~400年)	中期 5世紀 (401~500年)	後期 6世紀 (501~600年)	奈良時代 7世紀 (601~700年)
名取における有力者の墓の変遷	方形周溝墓 低墳丘墓 方墳・前方後方墳	円墳・前方後円墳	横穴式石室を持つ古墳 群集墳	横穴墓
名取の集落遺跡	山之神遺跡 今熊野遺跡 西野田遺跡	清水遺跡 野田山遺跡	十三塚遺跡	宮下遺跡
世の中のこと	渡来人が大陸文化を伝える	ゲルマン人の大移動始まる	倭軍が高句麗に使いを送る	仏教が伝わる 倭王武が中国に使いを送る
				大化の改新 遣唐使の派遣始まる 聖徳太子が拒政となる

